

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	DST 介入患者の転帰先の要因
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
DST 介入患者 2021 年 4 月～2022 年 3 月 リハビリテーション科 言語聴覚士 片桐啓之	
③概要	
DST 対象患者は、せん妄のアプローチ目的で介入している。 その患者の中には、摂食嚥下障害も合併している対象者も多々いる。 そこで、2021 年 4 月～2022 年 3 月までに DST が介入した患者のデータを後ろ向き調査を行い、入院期間への要因と摂食嚥下障害の要因を統計処理を行い調査を行いたいと思う。	
④申請番号	(倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。)
⑤研究の目的・意義	DST 介入患者が入院期間や摂食嚥下障害にどのような要因が関係するのかを調べ、入院期間の短縮、摂食嚥下障害の改善に役立てたい。
⑥研究期間	2023 年 11 月～2024 年 9 月
⑦情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	日本摂食嚥下リハビリテーション学会への学会発表
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、介入期間、認知機能、せん妄リスク、入院時の意識レベル、BPSD、身体拘束、転倒リスク、自己抜去、入院時・退院時のせん妄、経口摂取状況、寝たきり度
⑨利用の範囲	研究者と共同研究者のみ
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	リハビリテーション科 言語聴覚士 片桐啓之
⑪お問い合わせ先 (照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先)	リハビリテーション科メールアドレス

※使用する際は、これを含む下の文章を全て削除してください。

※オプトアウト書式は、<iriyousienka@nagachu.jp>へ原稿をお送りください。ホームページに掲載いたします。